

67期  
環境レポート



# 1. 環境方針

## 株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の事業運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
  - (1)二酸化炭素排出量の削減
  - (2)資源のリサイクルや節約
  - (3)環境美化活動の実施
  - (4)法令遵守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2010年9月1日  
株式会社 新潟藤田組  
取締役社長 藤田直也

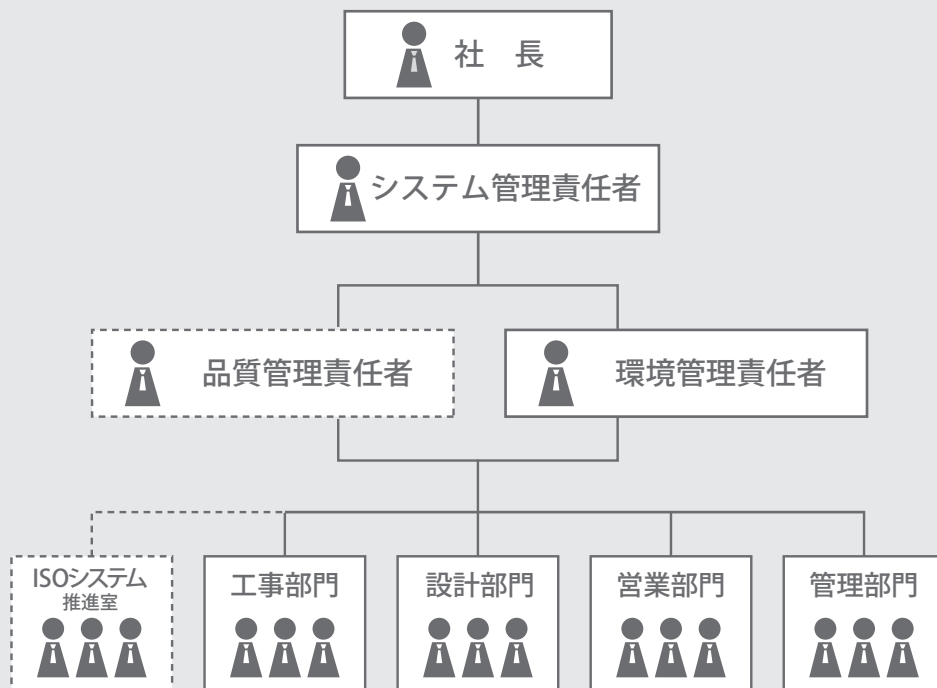
## 2. 企業概要・取り組み体制

### ● 企業概要

社名：株式会社新潟藤田組  
 代表者：取締役社長 藤田 直也  
 所在地：新潟県新潟市中央区白山浦 2-6 4 5-1  
 電話：025-266-1166  
 資本金：9000万円  
 従業員数：98名(平成28年4月現在)  
 創業：大正14年10月

### ● 環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



### 3. 事業における環境活動

#### ● Plan (計画)

■ 方針にもとづき以下の目標に向かって取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 資源の節約  
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする
- ③ 美化活動の実施  
美化活動の定例実施
- ④ 法令遵守  
環境法令遵守

#### ● Action (見直し)

■ 見直し、改善を図ります。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 資源の節約  
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする
- ③ 美化活動  
昨年同様に実施
- ④ 法令遵守  
昨年同様に違反等皆無にする

#### ● Check (点検)

■ 目標と実績とを比較します。  
対象期間  
27年3月1日～28年2月29日

- 二酸化炭素排出量  
高効率照明設備導入等により前年度実績より2,649kwh削減
- ガソリン使用量  
1Lあたりの走行距離は前年度実績より0.10km/L低下
- コピー用紙の使用量  
完成工事高/使用枚数比で前年度実績より0.000028減
- 美化活動  
美化活動の定例実施  
実績：白山駅前・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施
- 法令遵守  
環境法令遵守の確認  
実績：環境法令の違反等なし

#### ● Do (実行)

■ 具体的な取り組み事項

- ① 二酸化炭素削減の取り組み
  - ・ 発電設備等  
太陽光発電設備の活用
  - ・ 空調設備・運用等  
グリーンカーテンの実施  
クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・業務の効率化による節電  
空調設定を温度湿度で管理する  
冷房28℃以上、暖房21℃以下(厳冬期24℃以下)  
ドライ湿度80%以上、風力(弱)での運用
  - ・ 照明設備・運用等  
高効率照明設備の活用  
単独スイッチの活用  
こまめな消灯・業務の効率化による節電
  - ・ 車両選定・運用等  
低燃費車への入替  
ハイブリット車でのガソリン使用量の削減  
アイドリングストップの実施  
燃費向上運転の指導・心がけ  
冷暖房の使用状況改善
  - ・ その他  
啓発掲示物等の掲示
- ② 資源の節約への取り組み
  - ・ コピーFAXの運用等  
両面印刷、裏紙印刷によるコピー用紙の削減  
ミスコピー撲滅運動実施  
電子化・ペーパーレス化の推進
  - ・ その他  
啓発掲示物等の掲示
  - ・ 資源の有効活用等  
ゴミの完全分別実施
- ③ 美化活動の実施
  - ・ 本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施(冬期及び悪天候日を除く)
  - ・ 緑化コンクールへの参加
- ④ 法令遵守への取り組み
  - ・ すべての作業所で環境法令を遵守する  
施工前の討論会での確認  
担当者による遵守状況の確認
- ⑤ 著しい環境側面への対策
  - ・ 消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練の実施

# 4. CO<sup>2</sup>排出量チェックシート(67期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・上越(営)・西蒲(営)

## ● 電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
電気	71,163 kwh	71,163 kwh	68,514 kwh	前期実績以下	2,649 kwh 削減
ガソリン (社有車)	17.00 km	17.34km	16.90 km	前期実績より 2%の向上	0.10 km 低下

※1 ガソリン使用量については、1Lあたりの走行距離(全社平均)の延長を目標としていく。

## ● その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
コピー用紙 (A4換算)	652,000 枚	652,000 枚	472,250 枚	前期実績以下	179,750 枚 削減
	0.000139	※2 0.000139	※3 0.000111		0.000028

※2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の0.000139以下にする。  
前年実績(0.000139)=使用枚数(652,000枚)÷完成工事高(4,694,000,000円)

※3 当期実績(0.000111)=使用枚数(472,250枚)÷完成工事高(4,259,000,000円)

## 5. 67期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・上越(営)・西蒲(営)

### ● 電気・ガス・ガソリン

#### □ 電気

前期より 2,649kwh 減。

前期実績以下を目標とする。具体的な施策では、啓発掲示物の設置、高効率照明設備の導入、クールビズ・こまめな消灯・業務の効率化による節電、太陽光発電の活用等。

#### □ ガソリン

1Lあたりの走行距離(全社平均)は前期より 0.10km/L 低下。

省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行ったが、燃費の向上は達成できなかった。今後は数値目標とはしないが、引き続き全社にて取り組んでいく。

### ● その他環境に影響するもの

#### □ コピー用紙

当期実績 0.000028 減 (=使用枚数 ÷ 完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

---

#### ・ ゴミの完全分別 (本社)

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(ダンボール・可燃ごみ・シュレッダー)。

#### ・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。  
アダプトプログラムの実施等。